（様式７）

公共事業継続箇所評価調書

評価確定日（平成３０年　９月２８日）

事業コード	H30－建－継－01	区　　分	● 国庫補助　　○ 県単独
事　業　名	地方街路交付金事業	部局課室名	建設部　都市計画課
事業種別	現道拡幅	班　　名	都市整備班　　(tel) 018-860-2443
路線名等	都市計画道路　川尻広面線	担当課長名	都市計画課長　竹村　勉
箇　所　名	秋田市大町	担当者名	副主幹（兼）班長　草薙　克昌

プランとの関連	政策コード	04	政　策　名	安全で安心な生活環境の確保
	施策コード	03	施　策　名	四季を通じて快適な生活環境の確保
	指標コード	05	施策目標(指標)名	コンパクトで魅力のあるまちづくりの推進

１．事業の概要

事業期間	Ｈ２６～Ｈ３２（　７年）	総事業費	30.0 億円	国庫補助率	0.6545

事業規模

延長　Ｌ＝１９７ｍ　幅員　Ｗ＝９．０（２５．０）ｍ

事業の立案に至る背景

(都)川尻広面線（県道名：(主)秋田岩見船岡線)の秋田市大町部分は、秋田市都心部の道路交通を迂回させる都心環状道路の一部として位置づけられている重要な幹線道路である。

しかし、現道は一方通行規制がなされているほか、歩道も無く、円滑な道路交通が阻害されている。

H25.7に隣接する寺町工区(344m)が完成したが、依然として当該区間がボトルネックとなり、都心環状道路の機能を十分に発揮することが出来ないことから、拡幅により一方通行を解消し、交通混雑の緩和と良好な沿道環境の形成を図る。

事業目的

○バス交通を含めた都市内交通の円滑性確保
○通学路の安全確保と地域住民の安全性向上
○一方通行解消
○公共公益施設へのアクセス向上

事業費内訳 事業内容（単位：千円）

		計画時	評価時	増減	理由等
事業費		3,000,000	3,000,000	0	
経費内訳	工事費	370,000	370,000	0	
	用補費	2,500,000	2,500,000	0	
	その他	130,000	130,000	0	
財源内訳	国庫補助	2,100,000	1,963,500	▲136,500	補助率の変更による
	県債	648,000	770,800	122,800	補助率の変更による
	その他	180,000	180,000	0	
	一般財源	72,000	85,700	13,700	補助率の変更による
事業内容		道路改築 L=197m	道路改築 L=197m		

事業の進捗状況

○平成２９年度末で事業進捗率は２２％（用地補償率２４％）

事業推進上の課題

○国登録有形文化財の移設
○事業認可変更予定

関連する計画等

県が策定する「都市計画区域マスタープラン」
市が策定する「都市計画マスタープラン」

情勢の変化及び長期継続の理由

特に情勢の変化は無く、隘路区間を早急に解消する必要がある。

事業効果把握の手法及び効果

指標名	都市計画道路整備率		
指標式	整備済み延長／都市計画決定延長		
指標の種類	○ 成果指標　● 業績指標	低減指標の有無	○ 有　● 無
目標値ａ	６４％	データ等の出典	秋田県の都市計画
実績値ｂ	６４％		
達成率ｂ／ａ	１００％	把握の時期	平成３０年　４月

事業コード（H30－建－継－01　　）
箇所名　　（秋田市大町　　）

前回評価結果等	● 選定または継続　○ 改善　○ 見直し　○ 保留または中止 ①指摘事項 特になし。 ②指摘事項への対応 特になし。

２．所管課の自己評価

観　点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	秋田市中心部の交通渋滞緩和を図るため、都心環状道路の一部である当路線の整備は重要である。 当該区間は通学路に指定されているが、歩道が設置されていないうえ、道路幅員は７～８ｍと狭隘であり、歩行者の安全確保と通行の利便性向上のためにも必要な事業である。	２７点
緊 急 性	幅員の狭い道路の両側に店舗が建ち並び、荷さばき駐車が多い中で、交差点部での交通事故が多発している。当該区間の前後は改良済みで、歩道も整備されていることから、歩行者の安全確保が急務の区間となっている。 また、一方通行解消により、救急病院（市立病院、中通病院）への搬送時間が短縮される。	９点
有 効 性	秋田市随一の繁華街である大町地区を横断する路線となっていることから、現道拡幅による歩行者の安全確保や地元商店街の活性化に寄与する。 無電柱化や歩道の設置、歩道融雪の整備により年間を通して良好で安全な歩行者空間の確保ができる。	２５点
効 率 性	事業の費用便益比（Ｂ／Ｃ）は１．３８であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値Ｃ　２６．１１億円　・総便益の現在価値Ｂ　３５．９７億円 現場発生材の再資源化やリサイクル製品を使用し、コスト縮減とリサイクルの推進に努めている。	１８点
熟　度	早期完成の要望書が提出されており、地域住民は川尻広面線全線供用を切望している。 秋田市横町通りまちづくり推進協議会で地域住民主体のまちづくりワークショップが開催されており、熟度は高い。	５点
判　定	ランク　（ ●Ⅰ　○Ⅱ　○Ⅲ ） 必要性、緊急性、有効性が高く事業は引き続き実施すべきである。	８４点
総合評価	● 継続　○ 改善して継続　○ 見直し　○ 中止 事業継続は妥当である。	

３．評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

４．公共事業評価専門委員会意見

公共事業箇所評価基準

評価種別　継続箇所評価　　**事業コード**　（H30－建－継－01）
適用基準名　街路事業　　**箇 所 名**　（秋田市大町　　）

1．評価内訳

観 点	評価項目　細別	評価基準	配 点	評価点	摘　要
必要性	都市計画道路の規模及び機能				
	道路の規模及び分類	幹線街路	4	4	幹線街路
		補助幹線街路	2		
		上記以外の補助幹線街路など	0		
	都市構造上の機能	放射環状道路	4	4	都心環状道路
		都心軸を補完する道路	2		
		その他の道路	0		
	現況道路における問題箇所				
	交通容量不足（現道混雑度1.0以上）	該当	1	0	
		非該当	0		
	主要渋滞箇所の渋滞解消・緩和に効果のある道路	該当	2	2	山王五丁目交差点～五丁目橋交差点
		非該当	0		
	狭隘道路（1車線道路・一方通行道路）	該当	2	2	一方通行区間
		非該当	0		
	線形不良・勾配不良（道路構造令又は県の基準に達しない道路）	該当	2	0	直線道路
		非該当	0		
	バス路線	該当	2	2	秋田中央交通 川尻割山線、楢山大回り線
		非該当	0		
	歩道や自歩道が無い道路（規定幅員が確保されていない場合を含む）	該当	4	4	歩道無し
		非該当	0		
	通学路指定	該当	2	2	旭北小学校
		非該当	0		
	人身事故発生地点	該当	2	2	H5～H29 ２８件
		非該当	0		
	交通状況の変化				
	この事業の目的が失われるような交通状況の変化はない(交通量、渋滞長等)	該当	5	5	
		非該当	0		
	計		30	27	
緊急性	防災機能向上への貢献度				
	・緊急輸送道路 ・避難路 ・老朽橋梁又は耐震性の劣る橋梁の架替・補強 ・延焼防止(現況幅員W<12m→拡幅後W≧12m)	該当項目２以上	7	7	旭北地区ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ避難路 延焼防止(拡幅後W=25m)
		該当項目１	5		
		該当項目０	0		
	関連事業の有無				
	各種プロジェクト支援（国・県・市町村など）	該当	1	1	都市計画大町・下肴町地区計画（市）
		非該当	0		
	公共公益施設等アクセス（市町村役場・医療機関・学校・公民館など）	該当	1	1	旭北地区ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ 市立病院、中通病院
		非該当	0		
	他の公共事業関連（街路事業以外の事業支援）	該当	1	0	
		非該当	0		
	計		10	9	
有効性	市街地の活性化とまちづくりへの貢献度				
	・DID区域内 ・市街地再開発・区画整理等との連携 ・無電柱化計画 ・景観、中心市街地の活性化やまちづくりに資する ・商業地域内	該当項目２以上	10	10	ＤＩＤ区域内 無電柱化 商業地域内
		該当項目１	5		
		該当項目０	0		
	物流の高度化と交流の円滑化への貢献度				
	・高速ICアクセス ・港湾・空港アクセス ・新幹線駅又は特急停車駅へのアクセス ・主要な観光地へのアクセス ・駅前広場の造成 ・広域道路整備計画	該当項目２以上	5	5	高速ICアクセス 新幹線駅へのアクセス 主要観光地：千秋公園
		該当項目１	3		
		該当項目０	0		
	安全で快適な生活環境への貢献度				
	・バリアフリー ・二次・三次医療施設へのアクセス ・消融雪施設又は流雪溝の整備 ・耐雪幅の確保 ・道路緑化の推進	該当項目２以上	5	5	バリアフリー 二次医療（市立病院等） 歩道融雪（両側）
		該当項目１	3		
		該当項目０	0		
	社会情勢の変化				
	社会情勢の変化による事業の有効性	有効性が高い	5	5	特に情勢の変化は無く、隘路区間を早急に解消する必要がある。
		低下傾向	3		
		有効性が低い	0		
	計		25	25	

別表６（14）

公共事業箇所評価基準

評価種別　継続箇所評価
適用基準名　街路事業

事業コード　（H30－建－継－01）
箇 所 名　（秋田市大町　　）

1. 評価内訳

観 点	評価項目　細別	評価基準	配 点	評価点	摘　要
効率性	費用便益比（Ｂ／Ｃ）				
	費用便益比（Ｂ／Ｃ）	１．０以上	5	5	
		１．０未満	0		B/C=1.38
	計画交通量				
	計画交通量	10,000台／日以上	5	3	8,000台/日
		4,000台／日以上10,000台／日未満	3		
		1,000台／日以上4,000台／日未満	2		
		1,000台／日未満	0		
	コスト縮減・リサイクル推進貢献度				
	・ コスト縮減に積極的に取り組んでいる	該当項目２以上	5	5	現場発生材の再資源化 再生骨材、再生合材、リサイクル製品の利用
	・ 廃棄物の発生抑制、再資源化及び適正処理	該当項目１	3		
	・ リサイクル製品、再生骨材等の使用	該当項目０	0		
	・ 新工法・新技術の採用				
	事業中止又は休止による影響				
	事業を中止・休止した場合の成果に対する影響	代替手段がなく、影響が大きい	5	5	一方通行の解消、通学路の危険除去が困難となる。
		代替手段はあるが、影響が大きい	3		
		代替手段があり、影響が小さい	0		
	計		20	18	
熟　度	事業の進捗状況				
	事業進捗率 （事業費ベース）	計画通り又は計画より進捗している	5	0	
		概ね進捗（80～100%未満）	4		
		計画より遅れている（50～80%未満）	2		
		計画よりかなり遅れている（50%未満）	0		
	用地買収進捗率 （用地面積ベース）	計画通り又は計画より進捗している	5	0	
		概ね進捗（80～100%未満）	4		
		計画より遅れている（50～80%未満）	2		
		計画よりかなり遅れている（50%未満）	0		
	地域の協力体制				
	・ 事業推進のための各種協議会等が設置されている	該当項目２以上	5	5	秋田市横町通りまちづくり推進協議会の設置、ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ等を開催 地元要望活動あり
	・ 地域住民の取り組みが積極的である	該当項目１	3		
	・ 市町村自ら積極的に用地交渉など事業の推進に関与している	該当項目０	0		
	・ 地元要望がある				
	計		15	5	
合 計			100	84	

2. 判　定

ランク	判定内容	配　点	判定	摘　要
Ⅰ	優先度がかなり高い	８０点以上	Ⅰ	
Ⅱ	優先度が高い	６０点以上～８０点未満		
Ⅲ	優先度が低い	６０点未満		